Close-up！

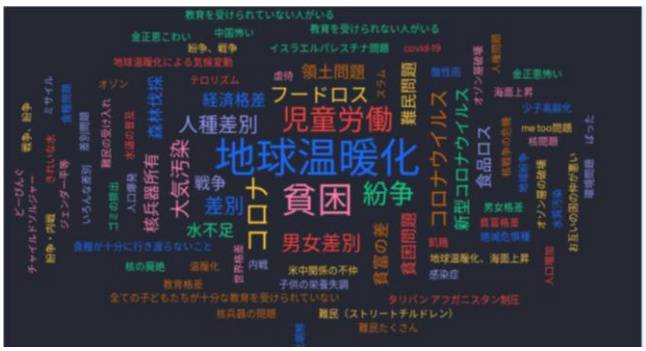
第　５　号
Chromebook 通信
教務ＩＣＴ担当
令和３年８月３０日（月）

☆実践報告　Classroom・Jamboard を使った４回生Ｃ英語Ⅰ授業

使用機器：Chromebook（教員用・生徒用）

概要：全体で意見や考えをすぐに共有することで内容理解を促す授業

クロームブックの役割：教科担当が５～６人ごとの Classroom に Jamboard や YouTube、※Mentimeter のリンクを貼りつけ、生徒が自分の意見や考えを投稿できるようにしておく。結果については、すぐに集計されるとともに、全体で共有できるようになっている。意見のシェアリングがペア→小集団→全体で段階的かつ即座にできる。また、生徒は匿名での発表となるので、積極的に意見を投稿する場面がみられた。　※リアルタイムで投票結果を確認できるアプリ。



成果

- 生徒の操作はたいへんシンプルであったため、活動自体は進めやすかったです。活動の記録もスクリーンショットで残すことができるため、単元の終わりに学習による変化の差を明確に示すことができると思います。(単元の始めでは表現したいことや読み取った内容について日本語で表現する部分が多いですが、単元の終わりには英語で表現することができるようになっていることに気づくことができると思います)
- 今回は視覚による補助がほとんどであったため、概要把握はしやすかったと思われます。あくまでも外国語を授業の中で使用することがメインなので、このような視覚的なサポートは外国語学習をする上で非常に有効だったと思います。

課題

- 今回は単元の導入での使用だったため、本格的なインタラクションまでにはいたりませんでした。S⇔S、T⇔S の双方向での言語活動に発展させていくためにも、Mentimeter についてはさらなる発問、Jamboard については意味ある言語活動に展開していくことが重要になるのではと考えています。

今後に向けて

- 生徒が意欲的に取り組んでいたので、内容理解を深めた後に、英語での相互活動に発展させていくことができればと考えています。